

美和神社お神楽鑑賞会 報告

前号のかわら版でお知らせをした「美和神社 お神楽鑑賞会」が無事、盛況のうちに終わりました。(内海)



明野総合会館農事作業室(和室)で行われた鑑賞会は、一室を神楽殿に見立て、もう一室に座布団を敷いてお客さまに入っていました。明野町からはもちろんのこと、他市からも多くの方が観に来てくださり、約70名のお客さまで会場はすごい熱気でした。美和神社神楽保存会の方々は、例大祭さながらに全てを準備してきてくださり、楽の生演奏の中、勇壮で美しい舞をご披露くださいました。当日ご披露いただいた舞は以下の5つです。

- ・ 建国舞(けんこくのまい) ・ 剣打舞(つるぎうちのみ) ・ 四剣舞(しけんのまい)
- ・ 魚釣舞(うおつりのまい) ・ 大蛇舞(おろちのみ)



建国舞



四剣舞



魚釣舞



大蛇舞



「建国舞」は、イザナギ・イザナミによる国造りの神話が元となった神楽で、美和神社の神楽の中でも特色のある舞です。「大蛇舞」は、スサノオが八岐大蛇^{やまたのおろち}を倒す神話を元にした神楽で、明野でもかつては奉納されていましたが、現在は舞われていません。スサノオが八岐大蛇に斬りかかる場面は、二人の間合いが絶妙で、とても迫力がありました。「剣打舞」と「魚釣舞」では、神様や鬼によるお菓子やスルメの配りものがあり、子ども達は大喜び。実際の祭りのような、にぎやかで楽しい雰囲気となりました。「四剣舞」は、子ども達が神楽教室で習っている「二人剣舞」と似ている舞です。剣を持った大人四人が、自分達も知っている足の運び方で、舞台いっぱいには舞っている勇ましい姿に、子ども達は目を奪われていました。

美和神社の方々の舞の他、当法人の子ども神楽教室参加者による舞の披露もありました。美和神社の方々もお客さまも、子ども達の頑張りを目を細めていらっしゃいました。

なかなか観ることのない他地域のお神楽。明野の各神社の神楽保存会の方々も多くいらっしゃってくださり、自分達の神楽との違いや似ている点などについて、色々とお話してくださいました。場所は変われど、神楽はお祭りの主役で、華やかで楽しいものなんですね。

美和神社の春季例大祭は、4月の第一日曜日(今年は6日)に行われます。前夜には宵祭りも行われ、そこでもいくつか舞が奉納されるそうです。

明野町浅尾 お筒粥の神事



浅尾の三島神社で2月16日から17日にかけて行われる「お筒粥の神事」に、昨年引き続き参加させていただきました。

16日午後10時から神事は始まり、宮司さんによる祝詞などが終わった後、12本の竹からできた筒を、米に沈め粥を煮始めます。そして、17日になった0時に、竹筒を引き上げ、それぞれの粥の詰まり具合によって、1月～12月及び12の作物の、今年一年の収穫について占います。詰まり具合を上・中・下で判断し、神事に集まった総代さんはその結果を、17日の朝に各区の氏子さんに口伝します。

今回は、神事における神様への捧げ物について説明をしようと思います。

「お筒粥の神事」においても、「^{しんじゆん}神饌」と呼ばれる食物を神様にお供えします。神饌には、米、塩、水、野菜、魚、海草、酒などが使われます。それらの神饌は、「^{けんじゆん}献饌」で神様にお供えし、「^{てんじゆん}撤饌」で下げられますが、神事が始まる前から準備しておく場合も多く、その場合酒と水の蓋の開け閉めで「^{けんじゆん}献饌」と「^{てんじゆん}撤饌」を示します。

浅尾をはじめ、皆さまの田畑の五穀豊穰をご祈念いたします。



= ドキドキ！まいぶんシリーズ =

2008年3月の予定～

Let's 縄文体験！！



きれいなまが玉を作ってみよう。

日にち：3月3日(月)午後5時～7時

たのしい手話教室

クイズやゲームをしながら、手話を覚えよう

日にち：3月5日(水)午後5時～7時

やさしい茶道教室

お茶のお作法を覚えよう。美味しいお菓子もあるよ。

日にち：3月11日(火)午後5時～7時

はじめての囲碁教室

楽しく囲碁を学ぼう！初心者でも大丈夫

日にち：3月13日(木)午後5時～7時

おばあちゃんの知恵袋

昔ながらのおやつを作ってみよう！

日にち：3月18日(火)午後5時～7時

ドキドキ！埋文シリーズで、いろんな体験を楽しもう 参加者申し込み受付中です！
お問い合わせは茅ヶ岳歴史文化研究所まで。
TEL/FAX：0551-25-2019

= 会員募集 =

こんなことをやってみたい人は、ぜひ！

歴史や文化財の研究を通じて知識を深めたい
活動を通じて文化財保護や活用に役立ちたい
イベントを通じてさまざまな人と交流したい

茅ヶ岳歴史文化研究所では、私たちと一緒に活動して下さる方、ご賛同いただける方を募集しています。

入会金 1,000円

年会費 1,000円

= 編集後記 =

美和神社神楽鑑賞会では、多くの方にご来場いただきました。間近で舞われる神楽は大迫力。本来なら四月の例大祭で舞われるこの神楽、会場には一足先に春が来たような熱気でした。

今年の浅尾の筒粥の神事では、占いの結果は吉と出ました。秋の作物の実りが楽しみですね。

かやぶんかわら版 第35号

平成20年2月19日発行

特定非営利活動法人 茅ヶ岳歴史文化研究所

〒408-0204 北杜市明野町上手8310

明野歴史民俗資料館内

TEL/FAX 0551-25-2019

ホームページ <http://www.kaya-net.jp>